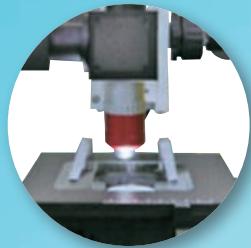


第43期 中間報告書

2017年6月1日 ▶ 2017年11月30日



光なら、きっとできる。

Light Solutions for Life®



シグマ光機株式会社

Contents

株主の皆様へ
第2四半期の業績（連結）
第2四半期のセグメント別概況
2018年5月期業績見通し（連結）

Topics シグマ光機の製品 対物レンズ
CSR活動・株主様アンケート結果のご報告
連結財務諸表
株式の状況／会社概要

経営理念

我社は光産業を通じ、社会に貢献します。

Light Solutions
for Life®
光なら、きっとできる。

「感謝」「挑戦」「創出」

シグマ光機株式会社

代表取締役社長 近藤 洋介

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当上半期は売上高が前年同期比15.1%増の43億3千7百万円、経常利益は前年同期比53.1%増の7億6千万円となり、売上高、全利益項目とも前年同期を上回る増収・増益となりました。引き続き堅調なスマートフォンやIoT関連の半導体・電子デバイスやFPD業界向けを強化するとともに、中長期の成長が予想されるバイオ・医療業界の他、新たな成長分野にも積極的に事業を展開し、継続的な成長と安定的な株主還元を努め、株主価値の最大化を目指す所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも真の「ものづくり」を追求するシグマ光機グループに、何卒ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第2四半期の業績（連結）

売上高 43億3千7百万円

(前年同期比 15.1%増)



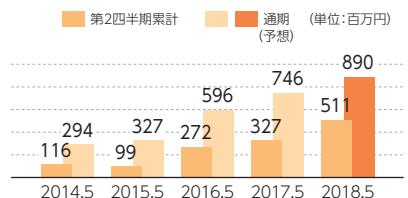
経常利益 7億6千万円

(前年同期比 53.1%増)

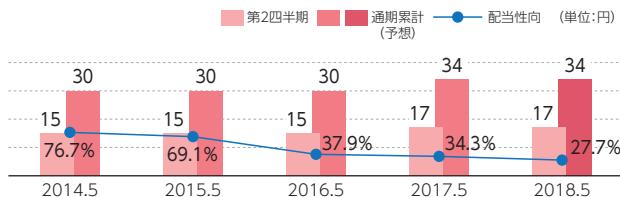


親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 5億1千1百万円

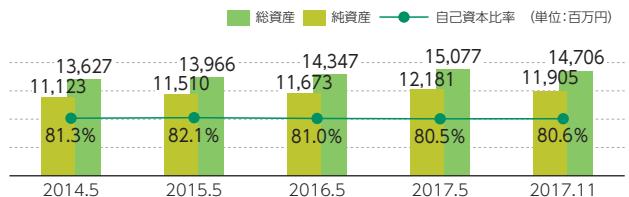
(前年同期比 56.2%増)



配当金、配当性向



総資産・純資産 自己資本比率



第2四半期のセグメント別概況

要素部品事業

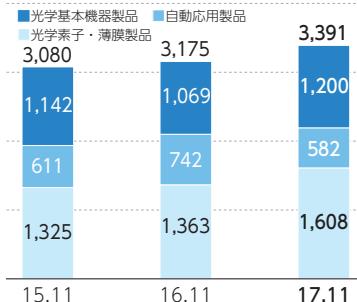
売上高



6.8%増

(前年同期比 215百万円増)

(単位：百万円)



システム製品事業

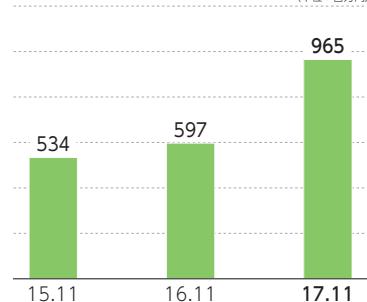
売上高



61.7%増

(前年同期比 368百万円増)

(単位：百万円)



ポイント 光学基本機器製品、光学素子製品が堅調

国内・アジア地域の産業分野での好調な研究開発投資・設備投資を背景に、スマートフォン・IoT関連の半導体・電子部品業界や有機EL・FPD業界向けのレーザ加工機・検査装置組み用光学基本機器製品及び光学素子製品の需要が拡大いたしました。米国地域はバイオ・医療業界や半導体業界、光計測業界向け、欧州地域は研究開発分野向けの需要が堅調に推移いたしました。

ポイント 組み込み用途のレンズユニットが好調

産業分野での好調な研究開発投資・設備投資を背景に、スマートフォン・IoT関連の半導体・電子部品業界や有機EL・FPD業界向けのレーザ加工機・検査装置組み用レンズユニット等の光学ユニット製品の需要が好調に推移いたしました。バイオ業界向けは、顕微鏡筒等の光学測定・分析装置製品や観察光学系システム製品の需要が堅調に推移いたしました。

2018年5月期業績見通し (連結)

産業分野の設備投資は回復基調で推移すると予想される中、海外地政学的リスクの高まり等の懸念はありますが、当社に関連する半導体・電子部品業界等を中心に需要は堅調に推移すると予想されることから前回予想を上回る見通しとなりました。また、普通株式一株当りの中間配当は17円とさせていただきます。年間配当予想は、期末配当一株当たり17円(予想)と合計して一株当たり34円との予想を据え置きさせていただいております。

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	配当額
8,600 百万円	1,200 百万円	1,310 百万円	890 百万円	34 円(※通期累計額)
(前年同期比9.6%増)	(前年同期比31.5%増)	(前年同期比26.4%増)	(前年同期比19.2%増)	配当性向(見通し) 27.7%

近年、タブレットやスマートフォンを中心に、電子基板の高密度化、パネルの微細化が断続的に進んでいます。微細加工に使用される対物レンズの需要が益々増加しています。

高速かつ非接触で数 μm サイズの微細・精密加工ができるレーザーは、先端産業分野で欠かせないものとなっています。レーザー光を理論限界まで一点に集光させるためには、高い性能の対物レンズが要求されます。



長作動対物レンズ



紫外線対物レンズ



ガラス厚補正
近赤外線対物レンズ

特徴 高スループットなレーザー加工に最適

当社の対物レンズはレーザー加工に優位性があります。独自の光学設計により加工用レーザーの全ての波長に対応できるラインナップを揃えており、レーザー用光学素子で培われたコーティング技術で高いレーザー耐力を実現しています。

これらの製品は、タブレットやスマートフォンの高機能化や生産現場の生産性向上に貢献しています。



安心の社内一貫体制

企画・設計から製造・組立・検査までの社内一貫体制により、高品質、短納期、バリュープライスを実現しています。

レーザー加工の例

マーケット



除 去	剥離、切断、穴あけ、マーキングなど
接 合	溶接、はんだ付けなど
表面改質	焼き入れ、アニーリングなど



切断・穴あけ

薄いガラス等にも亀裂・破片のない精密加工



はんだ付け

微細・狭ピッチにも安定したはんだ付け



マーキング

様々な素材に永久的な刻印/印字



リペア

パネルの製造工程で異物や欠陥を除去し歩留まり率を向上

今後の展開

技術の進歩とともに増加する研究開発及び生産現場での様々なニーズに対応できる対物レンズのラインナップを強化していきます。

また、対物レンズだけではなく、対物レンズ周辺の光学ユニット製品や光学要素部品、それらを組み合わせた光学システム製品の高付加価値化も進めていきます。

女性活躍推進



当社独自の女性活躍プログラム「働く女性サミット」の目的の一つである次世代のリーダー育成をテーマに、様々な部門に所属する女性社員が実際の経営課題に取り組みました。参加社員たちが協働で課題解決へ向け行動したことで新たな発見が得られ、部門・拠点を越えた社員同士の絆を強めることができました。今後も女性をはじめとする全ての従業員が活躍の場を広げ、笑顔で働ける環境づくりを進めていきます。

詳細は、当社ホームページをご覧ください。
[http://www.sigma-koki.com/
pages/company/woman_jp.php](http://www.sigma-koki.com/pages/company/woman_jp.php)



レーザー安全セミナー開催



当社はレーザーの普及に伴うレーザー関連の事故防止のため、2003年より民間企業、大学・研究機関等のレーザー取扱関係者を対象とした「レーザー安全セミナー」を開催しています。最初は東京本社で始まり、2015年からは大阪支店、2017年は九州営業所でも開催しました。今後もセミナーを通じてレーザー安全に対する意識の浸透を図り、レーザーの取り扱いによる事故防止に努めていきます。

防災備蓄品寄贈



当社はリスクマネジメントの一環として、防災備蓄品を備えています。今期は非常用食品の買い替え時期を迎え、賞味期限が半年以上先の買替対象の食料品を有効活用するためにフードバンク（NPO法人セカンドハーベスト・ジャパン）に寄贈しました。今回寄贈した食料品は、社会福祉施設等、支援を必要とする人々に届けられています。

株主様アンケート結果のご報告

株主様アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

第42期報告書で実施させていただきましたアンケートにつきまして、アンケート対象の全株主様3,681名（2017年5月31日時点）の約2%に相当する81名の株主様からのご回答をいただきました。お寄せいただきましたご意見・ご要望等は、今後の会社経営及びIR活動に活かしてまいります。

株主様からのご意見

Q 独創性のある製品に期待しています。

A 当社は創立以来、国家プロジェクト等の最先端の研究開発分野に取り組んでおります。また、更なる開発力の強化に向けて、当期から社内技術開発機能を集約した技術本部を新設いたしました。今後とも研究開発分野で長年培ってきた技術力を活かして、技術本部を中心に社内外の技術シナジーを高め、当社独自製品の早期市場投入を推進してまいります。

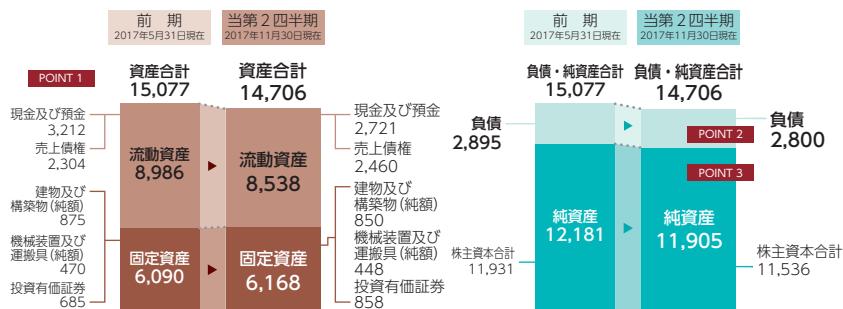
Q 海外展開に期待しています。

A 当社グループは、海外グループ会社とともにグローバル展開を強化しております。世界の主要な光学展示会等への出展やグローバルカタログの発刊、ウェブマーケティングの拡充等によるブランド認知度の向上を図っております。また、当社の中核技術を融合・複合した提案営業力の強化や現地代理店の拡充を進め、新市場での案件創出に積極的に取り組んでおります。

連結財務諸表

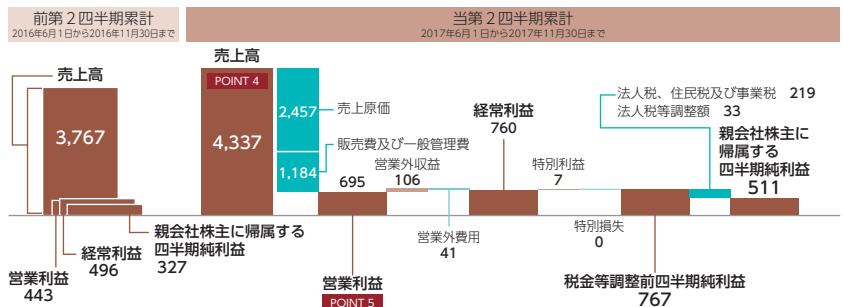
連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



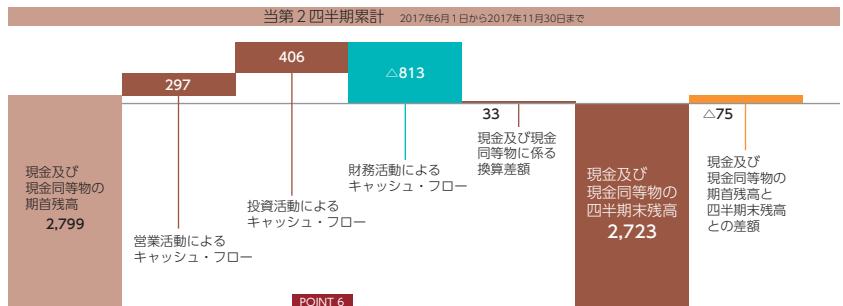
連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



株式の状況／会社概要

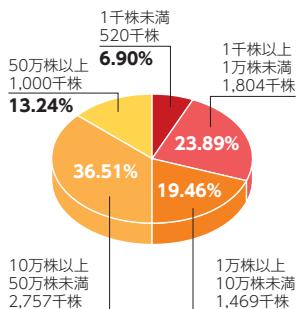
株式の状況 (2017年11月30日現在)

- ①発行可能株式総数 32,000,000株
- ②発行済株式の総数 7,552,628株
- ③株主数 3,375名
(前期末比306名減)
- ④主要株主

株主名	所有株数 (千株)	持株比率 (%)
浜松ホトニクス株式会社	1,000	14.12
シグマ光機取引先持株会	392	5.54
森 吟二	273	3.86
シグマ光機従業員持株会	247	3.49
株式会社埼玉りそな銀行	203	2.87
富国生命保険相互会社	200	2.82
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	197	2.79
株式会社津島建材	172	2.44
株式会社サンライズクリエート	158	2.23
杉山大樹	131	1.85

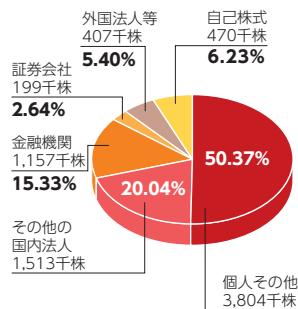
- (注) 1. 所有株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 持株比率は、小数点第3位を四捨五入して表示しております。
 3. 持株比率は、自己株式 (470,272株) を控除して計算しております。

所有株数別株式分布状況



- (注) 1. 所有株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 持株比率は、小数点第3位を四捨五入して表示しております。
 3. 自己株式 (470,272株) を含んでおります。

所有者別株式分布状況



会社概要 (2017年11月30日現在)

社名	シグマ光機株式会社
本社	埼玉県日高市下高萩新田17番地2
設立	1977年 (昭和52年) 4月
資本金	26億2,334万円
従業員数	337名
役員	代表取締役社長 近藤 洋介 取締役 中村 良二 取締役 多幡 能徳 取締役 小林 祐二 常勤監査役 山口 秀一 監査役 南雲 幸一 監査役 野崎 誠

- (注) 1. 小林祐二氏は社外取締役であります。
 2. 南雲幸一氏及び野崎誠氏の2氏は社外監査役であります。
 3. 社外監査役 野崎誠氏は独立役員であります。

◆ 主な事業所

- 本社・日高工場
- 東京本社
- 大阪支店
- 九州営業所
- 能登工場
- 技術センター

◆ 関連会社

- OptoSigma Corporation
- OptoSigma Europe S.A.S.
- 上海西格瑪光机有限公司
- タックコート株式会社

当社の中間報告書は、「UDフォント」を採用しています

視認性、判読性に優れたユニバーサルデザイン(UD)書体を使用し、弱視・老眼等視力の低下にお悩みの方にも読みやすいよう配慮をしております。

文字使用例



株主メモ

事業年度 毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会 毎年8月開催
基準日 定時株主総会 毎年5月31日
期末配当金 毎年5月31日
中間配当を行う場合は、毎年11月30日

単元株式数 100株
公告方法 電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行く。
電子公告URL <http://www.sigma-koki.com/>

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記の【特別口座について】をご確認ください。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)  **0120-782-031** (通話料無料)
(インターネット ホームページURL)
<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、みずほ信託銀行株式会社に口座(特別口座といます。)を開設しております。左記株主名簿管理人とはご照会先及び住所変更等のお届出先が異なりますのでご注意ください。

〈特別口座に関するご照会先〉

(特別口座 口座管理機関) みずほ信託銀行株式会社
(郵便物送付先) 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)  **0120-288-324** (通話料無料)

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **7713**

いいかぶ

検索

 空メールにより URL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

 携帯電話からもアクセスできます QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

 **シグマ光機株式会社**
東京本社 東京都墨田区緑1-19-9
TEL.03-5638-8221 (総務部)

 UD
FONT

 ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C013080

 VEGETABLE
OIL INK